内視鏡的粘膜下層剥離術
（Endoscopic　Submucosal Dissection）

を受けられる患者様へ

大腸内視鏡治療説明用パンフレット

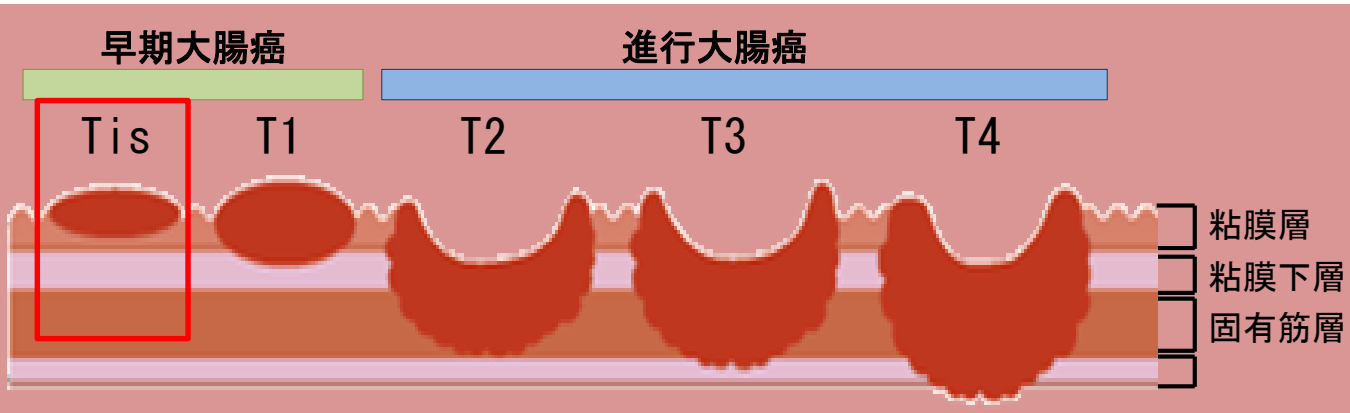
富山大学附属病院 第３内科

第２版

内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

1、 早期大腸癌

■ 大腸癌は、病変の深さにより早期癌と進行癌に分類されます。



・内視鏡治療が可能な病変は、一番左端の「Tis」という状態が適応です。

・内視鏡検査のみで正確な癌の深さまで診断できない場合があります。

・内視鏡治療後に追加治療（主に大腸外科切除）を必要とする場合があります。

2、 治療入院について

①入院日について

大腸内視鏡治療のため、下剤の服用が必要となります。下剤を入院して服用していただくことで、安定した前処置が可能となるため、全患者様には**治療前日**から入院していただいております。

②治療直後について（※治療後の病状により制限がかかる場合もあります）

行動制限：トイレ歩行まで

食事制限：絶食ですが、炭酸飲料・乳製品・コーヒーを除く水分は可能

③治療後１日目（※治療後の病状により制限がかかる場合もあります）

行動制限：院内フリーです

食事制限：指示あるまで絶食ですが、水分にも制限はありません。

④治療後２日目（※治療後の病状により制限がかかる場合もあります）

食事制限：給食

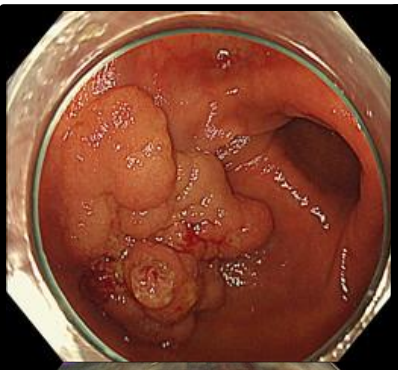
⑤退院について（※治療後の病状により入院期間が長くなる場合もあります）

治療後４日程度で退院します。

スケジュール	入　院	治　療	退　院
予定日			

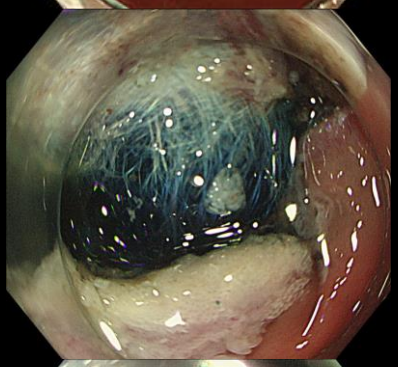
内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

３、 内視鏡的粘膜下層剥離術の方法



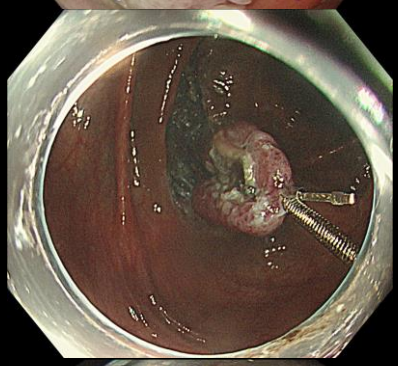
【病変の詳細な観察】

手術する病変について、治療前に当院でも大腸内視鏡検査を受けていただきます。
その際に、病変の大きさや深さ、内視鏡治療可能かどうか確認します。



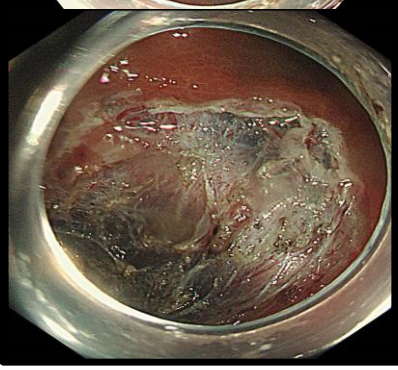
【粘膜下層剥離】

粘膜の下（粘膜下層）で病変を順番に剥がしていきます。



【S-0クリップの効果】

写真のように、剥離した病変が一定の方向と力で引っ張られます。

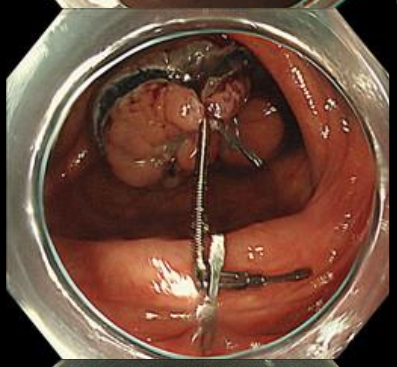


【剥離終了】

剥離が終了した部分は粘膜がない状態です。後出血予防のため見えている血管を焼いて処理し、治療は完了します。

【全周切開】

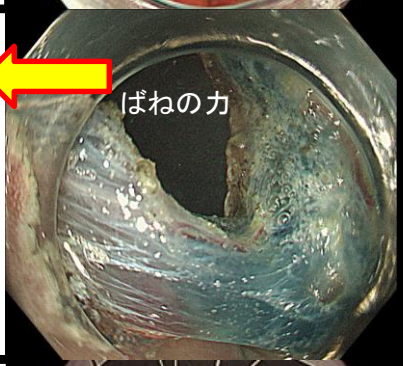
病変のまわりを電気メスで全周にわたり、粘膜を切開します。



【S-0クリップの使用】

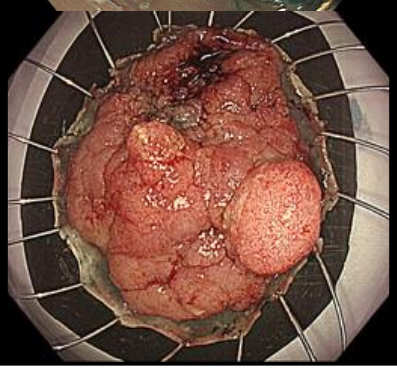
粘膜下層を剥離しやすくするために、特殊な器具（S-0クリップ）を用いた治療を行っています。

S-0クリップは一般医療器具に認定されています。



【S-0クリップの効果】

粘膜下層に潜り込むことが容易になり、治療時間の短縮と、安全性や切除率の向上につながります。



【切除病変】

内視鏡切除した病変は「病理検査」に提出し、癌が取りきれているか、癌の深さについて調べます。
（結果出るまで約2週間かかります）

- 内視鏡治療を行いやすくするため、途中で体位変換を行うことがあります。
- 直腸を除く部位の病変でS-0クリップを使用しています。
- 肛門部に病変がある場合、電気メスの痛みがあるため、局所麻酔を併用します。

３、 内視鏡治療時の麻酔方法について

大腸内視鏡治療では、治療中に体位変換（横向き・仰向けなど）が必要となるため、当院では完全に眠ってしまう程度の鎮静剤を使わないで治療を行っています。

しかし疼痛が強いなどの状態があれば、積極的に鎮静・鎮痛を行いますので、治療を進めながら対応していきます。

また、内視鏡治療中は鎮静を使用しないため、長時間の内視鏡治療では尿意を認めることがあり、あらかじめ該当の患者様には、膀胱留置カテーテルを使用することがあります。

４、 内視鏡的粘膜下層剥離術の偶発症

〔主な術中偶発症〕

①大腸穿孔・腹膜炎

電気メス操作で大腸に孔があく場合があります。大腸に空いた孔から空気が外に漏れて、腹膜炎を認める場合があります。その場合、開いた孔をクリップを使って閉鎖します。この場合、絶食・抗生物質の投与により内科治療で改善する場合もありますが、腹膜炎の程度によっては緊急手術が必要となる場合があります。（その都度外科医と相談して方針を決定します）

①‘ また治療中に明らかな穿孔が無くても、治療後に遅れて穿孔することも報告されています（遅発性穿孔といいます）。この場合は手術が行われます。

②消化管出血

手術中の出血については、その都度内視鏡的に止血を行ないます。

※内科的処置により改善が見込めない時には、手術が必要になる場合もあります

５、 術後の注意点

★ 退院後２週間は、アルコールの摂取や辛い食べ物、また過激な運動は避けて下さい。

★ 医師より説明させていただいた内容について、十分にご理解いただけましたら、承諾書に御署名のうえ、入院日に持参し内科外来でお渡しください。

★ 治療当日は電気メスを使用します。義歯や貴金属など、身に着けているものは治療当日外していただきます。保管用の容器などご持参ください。

何かご不明な点がございましたら、遠慮なくご質問ください。
富山大学附属病院第3内科　TEL：076-434-7701（内科外来直通）

（説明医署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿